

1級

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
さ	そ	お	し	え	こ	す	は	な	い	ほう	ばい	りゅう	りん	かん	ほう	き	こん	とう	き	じゅん	しゅう	ふぎ	りん	は	ちん	れ	こう	し	こう
だ		く	か	び	ら	す	じ	に	か	しょう	えい	せつ	き	そ	う	ょう	さん	ばん	くれ	き	とう	よう	せ	り	ん	て	め	じ	こう

(30)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
裓	鱈	黄	劫	膠	掣	礎	嵌	詭	出	砧	節	疼	饅	霜	熨	諧	跪	韋	溝
		老	臘	漆	肘		入		涸	兀	搏	痛		降	斗	謔		駄	浚

(40)

5	4	3	2	1
し	な	に	べん	ぞく
ょう	ん	し	ぺ	くれ
う	し	ゃ	き	い

問2 意味と読み

2x5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
月	讒	勒	皓	驪	悉	轆	環	風	無
鼈	誣	馬	齒	黄	有	軻	堵	檣	明

問1 書き取り

2x10

(四) 四字熟語

(30)

5	4	3	2	1
款	蠹	筌	汗	目
識	魚	蹄	青	耕

(三) 語選択書き取り (10)

オ	エ	ウ	イ	ア					
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
か	め	あ	け	う	は	あ	き	た	よ
さ	い	ば	つ	う	く	つ	ゆう	す	く
し	ぎ		よう		え		ご		たい
と	よく				い		う		

(六) 熟語の読み (10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
まつ	やつ	め	た	や	か	か	ご	あ	ワ
むし	が	な	が	ぶ	か	か	か	け	ン
そう	し	だ	や	さ	じ	か	い	び	タ
	ら		さん	め	か	か			ン
					か	か			
					か	か			
					か	か			
					か	か			

(五) 熟字訓・当て字 (10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
蛟	鍾	鍼	戚	水	桴	竈	積	白	薨
竜	馗	針	々	潦	枹		毀	玉	
		縷	戚		枹			楼	
			戚		枹			楼	
			戚		枹			楼	

(八) 故事・諺 (20)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
解	鷄	彈	豺	玉	料	豁	挂	凶	掉
纜	黍	指	虎	章	峭	闊	冠	歉	尾
		頃				達			

(七) 対義語・類義語 (20)

コ	ケ	ク	キ	カ	オ	エ	ウ	イ	ア
は	ざ	か	さ	く	す	い	お	べ	れ
さ	ん	か	か	ず	わ	い	お	つ	ん
	が	た	の			い		し	い
	ん	た	ほ			い		よ	
	が	た	ほ			い		よ	
	ん	た	ほ			い		よ	
	ん	た	ほ			い		よ	
	ん	た	ほ			い		よ	
	ん	た	ほ			い		よ	

読み (1x10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
駕	有	躄	鄙	瑕	緒	砂	衾	濟	平
	髯	躄	猥	疵		礫		勝	旦

(九) 文章題 書き取り (30)

2x10

準1級

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
おだまき	なん	なんじ	いびつ	つばおと	くま	よみ	うばぐち	もく	また	ふんぞうえ	きやら	そうち	かんそう	きし	じようぎ	えんがい	こうぎよ	きようりん	むげ	てつとう	ゆうぶつ	ぶき	きんしゃ	きようさい	ひんぴん	てつきか	こうとう	だいいじようえ	しし

(一) 読み (30) 1×30

5	4	3	2	1
疑	祖	老	幽	揚

(四) 共通の漢字 (10) 2×5

オ	エ	ウ	イ	ア								
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1			
ことごと	しつかい	ふ	しゅうおく	た	たんぜん	うかが	きち	お	お	よ	ぼ	う

(三) 一熟語訓の読み (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
しめ	し	ゆめゆめ	しばしば	こま	こぞ	つづま	まいな	きざはし	あげつら

(二) 表外の読み (10) 1×10

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
期	伍	嵩	笠	心胆	俄然	煤塗	汲々汲	途轍	危殆	瓢箪	簾	快哉	鞞当	柑橘	蒲柳	賞翫	雌蕊	扮装	梱包

(五) 書き取り (40) 2×20

5	4	3	2	1
と	にんにく	ちく	がいしゅう	はく

問2 意味と読み (2×5)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
櫛比	奄奄	佳肴	狗盗	半銭	不俱	一蓮	卷捲	盤(槃)根	規矩

(七) 四字熟語 問1 書き取り (30) 2×10

5	4	3	2	1	
竣	並	進	初	飾	誤
峻	併	信	緒	燭	正

(六) 誤字訂正 (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
破鏡	芥	蜘蛛	狐狸	獅子	藁	孝子	浄瑠璃	無何有	五斗米

(九) 故事・諺 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
契合	径(逕)庭	溢美	惹起	貴賤	背馳	蘇(甦)生	蒙昧	迂廻	留別

(八) 対義語・類義語 (20) 2×10

コ	ケ	ク	キ	カ	オ	エ	ウ	イ	ア
な	かいふく	なまかじ	た	ひ	あわせ	ま	お	よもぎ	さ

読み (1×10)

5	4	3	2	1
放蕩	糟粕(魄)	氣障	橋梁	濡

(十) 文章題 書き取り (20) 2×5

2級 (A)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
き	つ	た	て	は	な		し	ま		ご	こ	ひ	き	い	ふ	へ	じ	ほ	は	か	こ	そ	け	て	す	ぞ	つ	こ	さ
わ	や	わ	ぎ	な	な	つ	も	く	よ	う	ん	お	よ	っ	ゆ	ん	み	う	い	せ	う	ん	い	ん	う	う	ん	ん	い

(一) 読み (30) 1×30

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	エ	オ	ウ	エ	ウ	イ	ア	ウ	イ

(三) 熟語の構成 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
麻	人	貝	鬼	四	自	尸	辛	宀	言

(二) 部首 (10) 1×10

設問(三)と(四)問2はマークシート方式です。

15	14	13	12	11	問2	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1
ク	ア	オ	エ	イ	意味	忙	斬	悪	面	誇	定	冬	外	碎	百	書き取り
						中	新	口	従	大	離	扇	患	身	出	

(四) 四字熟語 (30) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
苗	縄	機嫌	紀元	静観	生還	蛍光	携行	洋裁	要塞

(六) 同音・同訓異字 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
同僚	丁寧	辛辣	唐突	駆逐	秩序	畏怖	騰貴	恭順	虐待

(五) 対義語・類義語 (20) 2×10

5	4	3	2	1
巖	門	兵	卵	浴
肅	扉	糧	巢	革

(九) 書き取り (50) 2×25

(下へつづく)

5	4	3	2	1
培	疎	伴	据	募
わ	ましかつ	う	える	っ

(八) 漢字と送りかな (10) 2×5

5	4	3	2	1	
効	破	欺	邸	保	誤
貢	覇	偽	廷	哺	正

(七) 誤字訂正 (10) 2×5

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
沙	宵	煮	洩	慈	蹴	忌	瞬	芳	釀	堀	挑	錦	布	搭	洞	包	渴	渦	紛
汰	越				飛							絵	施	乗	窟	括	水	中	糾

準2級 (A)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ひよりみ	うるしぬ	はさ	こと	わ	さ	ひとがき	おちい	か	まどわく	まてんろう	あんたい	かんぷ	ていさつ	じゅうそう	らしんばん	へいよう	きんこう	けんけつ	かせん	じよ	ちゅうよう	こうぐう	ちゆ	りゅうさん	きょうらく	へんくつ	がん	ぎんみ	るいせき

(一) 読み (30) 1×30

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	オ	エ	イ	エ	ウ	ア	エ	ウ	ア

(三) 熟語の構成 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
儿	隶	斤	爻	骨	彳	瓦	衣	甘	木

(二) 部首 (10) 1×10

設問(三)と(四)問2はマークシート方式です。

15	14	13	12	11	問2	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1
エ	ア	オ	ウ	ク	意味	是	縫	戒	鼓	援	紫	雷	鬪	謹	吐	書き取り

(四) 四字熟語 (30) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
詰	釣	及	窮	獣	柔	去	拒	床	粧

(六) 同音・同訓異字 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
伯仲	邸宅	祝福	前途	起起原源	反抗	多忙	秩序	閉鎖	恒久

(五) 対義語・類義語 (20) 2×10

5	4	3	2	1	(九) 書き取り (50) 2×25
撮影	承諾	露出	譜面	閲覧	

(下へつづく)

5	4	3	2	1	(八) 漢字と送りがな (10) 2×5
賢く	遮ら	荒れる	薄らぐ	傾け	

5	4	3	2	1	(七) 誤字訂正 (10) 2×5
採	弱	益	販	懐	誤
載	寂	疫	搬	介	正

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
含	彫	扉	棚上	猫背	幾	稻刈	矛先	渴	急患	鉢	恐竜	隠居	零下	栓	就寝	邪魔	奔放	逸	詐称

3級 (A)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
な		な		お	き	さ		す	こ	さ	こ	ち	じ	か	は	せ	こ	さ	ご	さ	け	と	ど	ど	た	じ	ぜ	か	き
ま	こ	ぐ	ほ	と	も	そ	も	こ	お	く	み	ょう	う	と	き	い	れ	か	ら	く	い	く	は	つ	れ	ま	ん	ん	ん

(一) 読み (30) 1×30

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	オ	イ	ア	イ	オ	ウ	エ	ア	ア	ウ	イ	ウ	ア	イ
擦	透	澄	紅	孔	坑	崩	傲	芳	浪	勞	樓	浴	宴	炎

(二) 同音・同訓異字 (30) 2×15

5	4	3	2	1
キ	エ	カ	イ	ケ
封	紛	冠	概	露

(三) 漢字識別 (10) 2×5

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	エ	ウ	ア	エ	ア	オ	イ	ウ	イ

(四) 熟語の構成 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	エ	ア	イ	ア	ウ	イ	イ	ア	エ
サ	ネ	文	厂	心	シ	カ	尸	行	穴

(五) 部首 (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
衛	期	辛	專	列	善	守	諾	暗	素

(六) 対義語・類義語 (20) 2×10

5	4	3	2	1
慌	易	負	貫	尽
て	しい	かし	く	きる

(七) 漢字と送りがな (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
五	犧	落	伝	千	名	一	順	意	器
裂	牲	日	心	万	論	触	風	気	用

(八) 四字熟語 (20) 2×10

5	4	3	2	1	
高	績	検	混	延	誤
向	籍	険	困	円	正

(九) 誤字訂正 (10) 2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
小	蒸	弾	背	緩	酔	潤	紺	圧	湖	一	家	起	脅	運	企	変	甲	文	握
豆			広				色	倒	畔	致	畜	伏	威	賃	業	換		房	手

(十) 書き取り (40) 2×20

4級 (A)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ふ	は	た	あ	お	に	す	は	こ	お	し	か	こ	き	よ	し	ふ	せ	し	り	た	き	ひ	か	め	し	て	ち	お	ふ
く		よ	お	に	ぶ		し	め	お	ゅう	いに	ぶ	おく	う	やく	ご	い	ん	ん	す	よ	か	い	しょう	ん	ん	ん	ん	ん

(一) 読み (30) 1×30

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	工	才	工	ア	才	ウ	ア	イ	イ	工	ア	ア	ウ	イ
避	刺	咲	泊	博	拍	切	彩	載	菓	箇	暇	乾	鑑	汗

(二) 同音・同訓異字 (30) 2×15

5	4	3	2	1
工	ケ	カ	キ	ウ
範	依	儀	露	惑

(三) 漢字識別 (10) 2×5

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	工	ウ	才	イ	ア	イ	ア	工	イ

(四) 熟語の構成 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	工	イ	ア	ウ	工	ア	工	ア	ウ
カ	女	又	土	行	月	サ	リ	馬	ト

(五) 部首 (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
互	輸	熟	助	防	益	陽	略	劣	調

(六) 対義語・類義語 (20) 2×10

5	4	3	2	1
盛	触	確	扱	退
んに	ら	かめる	う	け

(七) 漢字と送りかな (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
更	必	決	是	体	喜	馬	美	地	里

(八) 四字熟語 (20) 2×10

5	4	3	2	1	
鳴	貯	命	紹	現	誤
迷	著	盟	招	源	正

(九) 誤字訂正 (10) 2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
閉	輝	幹	縮	巖	心	斜	朽	尊	圈	砂	噴	敏	透	得	匹	増	浮	冬	光
					構			敬	外	丘	水	感	明	意	敵	築	上	眠	沢

(十) 書き取り (40) 2×20

5級 (A)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
わ	た	ひ	こ	つ	は	ち	ち	と	か	し	さん	り	し	あ	ろ		し	い	す
か	て	ひ	う	と	っ	ぢ	ょう	ど	し	ゆ	ん	よ	しょう	ら	う	い	た	ず	が
ば	が	よう	て	つ	き	ぢ	しゃ	ど	し	の	ぱ	い	じ		ど		が	み	た

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
14	12	10	3	15	9	7	3	8	6

(三) 画数(算用数字) (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
カ	く	ケ	お	イ	け	ア	こ	エ	い

(二) 部首と部首名記号 (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	ウ	ア	イ	ア	イ	ウ	エ	ア	ウ

(五) 音と訓(記号) (20) 2×10

5	4	3	2	1
供	濟	幼	刻	閉
える	ます	い	む	じる

(四) 漢字と送りかな(ひらがな) (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
著	善	宅	担	寸	純	臨	奮	暖	垂

(七) 対義語類義語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
革	討	宣	私	転	呼	訳	処	操	延

(六) 四字の熟語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
造	臓	写	映	覚	拡	装	奏	望	棒

(十) 同じ読み漢字 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	エ	イ	ウ	ア	エ	イ	ア	エ	ウ

(九) 熟語の構成(記号) (20) 2×10

5	4	3	2	1
カ	コ	エ	ケ	イ
ウ	オ	ア	キ	ク

(八) 熟語作り(記号) (10) 2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
忘	危	蚕	難	専	散	盛	裁	腹	尊	模	宇	卷	俳	冊	階	浴	吸	乱	暮
	険			門	策				敬	様	宙	末	句		段				

(十一) 漢字 (40) 2×20

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ほ	え	の	か	ひ	じ	い	た	さ	か	ご	お	ぎ	つ	こ	こ	せ	そ	は	な
と	い		ま	た	ょう	き	い	さ	い	く	さ	ゃ	う	こ	く	っ	う	か	
け	せい			い	けん	お	ど	さ	ふ			くて	か	ろ	さい	ち	ぞ		

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
頁	ク	カ	ケ	之	コ	ハ	キ	言	ウ

(二) 漢字と送りかなひらがな (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	イ	ア	ウ	ア	イ	エ	ウ	ア	エ

(五) じゅく語の構成記号 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
8	2	8	3	15	10	6	5	7	6

(四) 画数(算用数字) (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
職	版	格	序	災	絶	略	祖	忘	賛

(七) 対義語類義語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
規	均	輸	経	技	術	舎	雑	眼	夢

(六) 三字のじゅく語(一字) (20) 2×10

9	8	7	6	5	4	3	2	1
益	液	易	在	罪	暑	厚	招	賞

(十) 同じ読み漢字 (18) 2×9

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	ア	ウ	イ	ア	ウ	エ	イ	ア	ウ

(九) 音と訓記号 (20) 2×10

6	5	4	3	2	1
オ	ケ	カ	ク	イ	ウ

(八) じゅく語作り(記号) (12) 2×6

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
損	演	原因	保	耕	余	貸	飼	肥	険	備	酸	銀	独	率	燃	暴	増	弁	枝
							育	料			素	河	唱			力		当	

(十一) 漢字 (40) 2×20

7級 (A)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
く	ぎ	だい	ねっ	い	ぎ	あ	さん	な	じゅん	し	ま	た	ひよう	お		くん	いん	どう	か
ろ	だい	じん	せん	さ	ふけん	ら	ん	お	ん	お	い	ね	う	ぼ	お	れん	さつ	とく	
う																			

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	ウ	イ	イ	ウ	ア	ア	イ	ア	ウ

(三) 漢字えらび(記号) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
う	し	お	ほう	こ	し	く	か	え	せん
し	な	び	う	こ	ち	わ	こ	ら	し
な	い		たい	ろ	やく		う	しゅ	ゆ

(二) 読み (10) 1×10

5	4	3	2	1
康	無	末	初	泣

(六) 対義語(一字) (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	ア	ア	ア	イ	イ	ア	イ	ア	イ

(五) 音読み・訓読み(記号) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
総画数					何画目				
11	14	10	15	13	3	7	8	5	11

(四) 画数(算用数字) (10) 1×10

ウ			イ			ア			
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
極	械	札	材	願	顔	類	周	器	司

(八) 同じ部首の漢字 (20) 2×10

7	6	5	4	3	2	1
浴	必	働	照	固	浅	続
びる	ず	く	らす	まる	い	ける

(七) 漢字と送りかな(ひらがな) (14) 2×7

五		四		三		二		一	
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
才	ア	ア	エ	ウ	ア	イ	エ	才	イ

(十) 同じく語作り(記号) (20) 2×10

8	7	6	5	4	3	2	1
鏡	競	節	説	貨	課	席	積

(九) 同じ読み漢字 (16) 2×8

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
残	録	利	漁	位	祝	飯	老	民	衣	束	結	輪	博	借	給	仲	満	牧	飛

(十一) 漢字 (40) 2×20

漢検

2022年度 第1回 日本漢字能力検定 標準解答(こたえ)

検定日 2022年6月19日

（社）日本漢字能力検定協会

(一) つぎの線の漢字の読みがなを線の右に書きなさい。

30 1X30

- 1 波が岩に当たって白くあわ立つ。
2 道の両がわに花が植えられている。
3 お楽しみ会の出し物を相談する。
4 昼休みに図書委員が本をかし出す。
5 ていねいな言葉づかいを心がける。
6 頭を軽く下げてあいさつする。
7 海べがけて貝の化石が見つかった。
8 虫歯のいたみが止まらず苦しい。
9 公園でひまわりの花を写生した。
10 黒板に書かれた詩を音読する。
11 虫めがねの使い方を教わった。
12 エジソンは発明家として有名だ。
13 日本では米から酒がつくられる。
14 バスの乗客は数人だった。
15 山も野原も深いきりにつまれた。
16 谷川の流に手をひたす。
17 文章を書き直して読みやすくした。
18 湯をわかつてポットに入れる。
19 先生がプールの水温をはかった。
20 子羊がかわいい声で鳴いた。

勉局板和農
8 3 6 7 11
整都育鼻係
16 11 8 14 9

(二) つぎの漢字の太いところは、何番めに書きますか。○の中に数字を書きなさい。

(四) おなじなかまの漢字を□の中に書きなさい。

心 息 悲 しみ
鼻 息 悲 しみ
行 進 運 動
実 力 お 守 り
薬 指 投 げ る
他 人 畑 仕 事

(三) (一)の中に漢字を書いて、上のはんたいの読みのことばにしなさい。

きけん (安) 全
た て (横)
ね る (起) きる
長 所 (短) 所
拾 う (落) とす

○この答えを見て、書けなかったところはどこか、まちがったところはどこか、しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、そのままにしないで、すぐに練習をして正しくおぼえましょう。

【不許複製】

(五) つぎの(一)の中に漢字を書きなさい。

20 2X10

1 音楽会は午後二時にハジマル。
2 夏の夜空にウツクシイ火花があがる。
3 赤いガラスの花がヒラク。
4 大空に色とりどりの風船をハナス。
5 かけっこをして兄にマケル。
(六) つぎの線のカタカナを○の中の漢字で読みかきなさい。
(病) 気がなおって元気が出てきた。
(急) 用がきて出かけた。

(七) つぎの線の漢字の読みがなを線の右に書きなさい。

10 1X10

1 計算ドリルで、かけ算やわり算の練習をする。
2 商店がいの福引きで。
(八) つぎの□の中に漢字を書きなさい。
1 計算ドリルで、かけ算やわり算の練習をする。
2 商店がいの福引きで。

3 自転車で世界を旅した。
4 学校の宿題をすませてから。
5 祭りのはつぴを着て。
6 この写真の真の前から三列目の中央にいるのが姉だ。
7 休み時間に校庭の鉄ぼうで。
8 太陽の熱で地面が少しずつあたためられる。
9 木々の緑にかこまれた坂道を歩く。
10 王様が馬車に乗って、森のおくにある湖に向かう。

(一) つぎの文をよんで、— さんの漢字の(22) 1X22  
よみがなを— さんの右にかきなさい。

1 図書<sup>1</sup>かんて、読み<sup>2</sup>おえた本を  
元<sup>3</sup>の場しよにもどす。

2 みな<sup>1</sup>の方<sup>4</sup>から汽<sup>5</sup>てきの  
鳴<sup>6</sup>る音<sup>7</sup>が聞<sup>8</sup>こえた。

3 晴<sup>1</sup>れた日<sup>2</sup>に、弟<sup>3</sup>といっしよに  
原<sup>4</sup>っぱで虫<sup>5</sup>をさがした。

「バッタ<sup>1</sup>をつかまえたよ。」

と言<sup>1</sup>って、弟<sup>2</sup>が見<sup>3</sup>せてくれた。

4 自<sup>1</sup>てん車<sup>2</sup>のタイヤ<sup>3</sup>がパンク<sup>4</sup>した。

店<sup>1</sup>にもっていって、新<sup>2</sup>しい

タイヤ<sup>1</sup>と交<sup>2</sup>かんしてもらった。

5 明日<sup>1</sup>、お姉<sup>2</sup>さんのピアノの

はっぴ<sup>1</sup>よう会<sup>2</sup>がある。

6 電車<sup>1</sup>のま<sup>2</sup>どから、高<sup>3</sup>い山<sup>4</sup>が

遠<sup>1</sup>くに見<sup>2</sup>えた。山<sup>3</sup>の上<sup>4</sup>には

雪<sup>1</sup>がまだ少<sup>2</sup>しのこ<sup>3</sup>っていた。

(二) つぎの漢字のふたごころはなんぼんに  
かきなさい。○の中<sup>10</sup>に一字<sup>10</sup>をかきなさい。

地<sup>1</sup>番<sup>2</sup>南<sup>3</sup>後<sup>4</sup>京<sup>5</sup> …… 5 9 8 7 6  
羽<sup>1</sup>岩<sup>2</sup>北<sup>3</sup>刀<sup>4</sup>海<sup>5</sup> …… 6 8 5 2 9

(三) □にひらがなを一字かいて、つぎの  
ことばのよみをこたえなさい。

白鳥 …… はくちよう

火星 …… かせい

同点 …… どうてん

夕食 …… ゆうしよく

紙風船 …… かみふうせん

(四) ○のこころは、はねるか、とめるか、  
正しいかきかたで○の中<sup>10</sup>にかきなさい。

考<sup>1</sup>える ○ 外<sup>3</sup>出

中心<sup>2</sup> ○ 野<sup>4</sup>さい

(五) つぎの文をよんで、— さんの漢字の  
よみがなを— さんの右にかきなさい。

校<sup>1</sup>長<sup>2</sup>先生<sup>3</sup>にあいさつ<sup>4</sup>をする。

あさ<sup>1</sup>がおのつる<sup>2</sup>が長<sup>3</sup>くのびる。

今<sup>1</sup>夜<sup>2</sup>は月<sup>3</sup>がきれいに見<sup>4</sup>える。

今<sup>1</sup>にも雨<sup>2</sup>がふりそ<sup>3</sup>うだ。

じようぎ<sup>1</sup>で直<sup>2</sup>線<sup>3</sup>を三本<sup>4</sup>引いた。

ほ<sup>1</sup>どけたリボン<sup>2</sup>をむす<sup>3</sup>び直<sup>4</sup>す。

テス<sup>1</sup>トにむけて、べん強<sup>2</sup>する。

日<sup>1</sup>ざしがだんだん強<sup>2</sup>くなる。

寺<sup>1</sup>のかねが五<sup>2</sup>回<sup>3</sup>鳴<sup>4</sup>った。

小<sup>1</sup>犬<sup>2</sup>が元<sup>3</sup>氣<sup>4</sup>に走<sup>5</sup>り回<sup>6</sup>る。

— うらへつづく —

(六) つぎの漢字のひらがなを漢字で  
はうのぼんごうに○をつけてなさい。正しい

町<sup>1</sup>ない …… 1 町肉  
町<sup>2</sup>内 …… 2 町内  
前<sup>1</sup> …… 1 午前  
前<sup>2</sup> …… 2 午前  
当<sup>1</sup>じつ …… 1 当日  
当<sup>2</sup>日 …… 2 当日  
水<sup>1</sup>道 …… 1 水道  
水<sup>2</sup>道 …… 2 水道  
水<sup>1</sup>首 …… 1 水首  
水<sup>2</sup>首 …… 2 水首  
用<sup>1</sup> …… 1 用いる  
用<sup>2</sup> …… 2 用いる  
作<sup>1</sup>ぶん …… 1 作文  
作<sup>2</sup>文 …… 2 作文

(七) れいのようにおなじなまの漢字を  
□の中<sup>10</sup>にかきなさい。

秋<sup>1</sup> …… 秋の空・生活・科  
月<sup>1</sup> …… 月の光・兄  
細<sup>1</sup> …… 細かい・赤組  
茶<sup>1</sup> …… 麦茶・草原  
南<sup>1</sup> …… 南国・公園

(八) つぎの□の中<sup>10</sup>に漢字をかきなさい。

姉<sup>1</sup> …… 妹  
妹<sup>1</sup> …… 妹  
麦<sup>1</sup> …… 米  
西<sup>1</sup> …… 東  
東<sup>1</sup> …… 東  
売<sup>1</sup> …… 買  
弓<sup>1</sup> …… 矢  
矢<sup>1</sup> …… 矢  
つなぐ …… 切る  
白<sup>1</sup> …… 黒  
黒<sup>1</sup> …… 黒  
少<sup>1</sup> …… 多  
多<sup>1</sup> …… 多  
山<sup>1</sup> …… 谷  
谷<sup>1</sup> …… 谷  
せまい …… 広い  
広<sup>1</sup> …… 広い

(九) つぎの文をよんで、□の中<sup>10</sup>に漢字を  
かきなさい。

1 図<sup>1</sup>工<sup>2</sup>の時間<sup>3</sup>に、か<sup>4</sup>がみを  
見<sup>5</sup>ながら、自<sup>6</sup>分の<sup>7</sup>顔<sup>8</sup>を

画<sup>1</sup>用紙<sup>2</sup>にかいた。

2 お<sup>1</sup>楽<sup>2</sup>しみ会<sup>3</sup>で何<sup>4</sup>を

歌<sup>1</sup>うか、グ<sup>2</sup>ループ<sup>3</sup>で

話<sup>1</sup>し合<sup>2</sup>う。

3 毎<sup>1</sup>朝<sup>2</sup>早くおきて

ラジ<sup>1</sup>オ<sup>2</sup>体<sup>3</sup>そ<sup>4</sup>うをする。

4 昼<sup>1</sup>休<sup>2</sup>みに友<sup>3</sup>だちと

あやとりをしてあそんだ。

5 トマトのな<sup>1</sup>えが<sup>2</sup>大き<sup>3</sup>くなり、

黄<sup>1</sup>色<sup>2</sup>い花<sup>3</sup>がさいた。

6 来<sup>1</sup>週<sup>2</sup>の日<sup>3</sup>曜<sup>4</sup>日に、

家<sup>1</sup>の近<sup>2</sup>くのじんじやで

まつりが行<sup>1</sup>われる。

7 き<sup>1</sup>のう、親<sup>2</sup>子<sup>3</sup>でさんかする

おかし<sup>1</sup>教<sup>2</sup>室<sup>3</sup>に行<sup>4</sup>った。

お<sup>1</sup>母<sup>2</sup>さんと、ハ<sup>3</sup>ート<sup>4</sup>や星<sup>5</sup>の

形<sup>1</sup>のク<sup>2</sup>ッキーを作<sup>3</sup>った。

— お わ り —

○この答えを見て、書けなかったところは  
どこか、まちがったところはどこか、  
しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、  
そのままにしないで、すぐに練習をして  
正しくおぼえましょう。

1 きのう、かぞく四人で  
うち上げ花火を  
見に行った。

2 らしいゆうの月よう日に  
目のけんさをうける。

3 草はらでバッタを三びき  
つかまえて虫かこの  
中にそつと入れた。

4 雨がふっていたので  
ひる休みはともだちと  
けん玉をした。

5 先生がこぼんにかいた  
かん字をノートにうつす。

6 となり村では男の人が  
あざから大きなきかいで  
田うえをしていた。

7 つぎの かん字の ふといところは  
なんばんめにかきますか。○の  
なかにすう字をかきなさい。

8 九かいたてのビルがたつ。  
あめを九つふくろに入れる。  
ねん土できりんをつくった。  
土の中にみみずがいた。

9 まつりて金ぎよすくいをした。  
みせのレジでお金をはらう。  
じてん車でこうえんにいく。  
車にちゅういしてあるく。

10 百さいい  
草げん  
ハさつ  
名人  
休日  
（れい ふじ山……ふじさん）  
石がき……いしがき  
五つ……いっつ  
王子……おうじ  
年上……としうえ  
千円……せんえん

11 上……下  
目……口  
村……町  
男……女  
火……水  
すわる……立つ

12 7 天気がよい日に  
ちかくの小さな川で  
あそんだ。  
うさぎは右と左の  
耳をべつべつに  
うごかして音を  
きくことができる。  
きくことができる。  
きくことができる。

犬 3  
山 1  
先 5  
円 2  
字 4  
百 5

中 4  
土 3  
見 7  
金 8  
石 5  
森 12

田うえをしていた。  
あざから大きなきかいで  
6 となり村では男の人が  
かん字をノートにうつす。  
5 先生がこぼんにかいた

じてん車でこうえんにいく。  
車にちゅういしてあるく。

——うらへつづく——

10級 A

○この答えを見て、書けなかったところはどこか、まちがったところはどこか、しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、そのままにしないで、すぐに練習をして正しくおぼえましょう。

(不許複製)

4 つぎの ことばの よみがなを ただし、  
ほうの ばんごうに ○ を つけなさい。  
1 百さいい ① ひやくさいい  
② ひやくさいい  
2 草げん ① そうげん  
② そおげん  
3 ハさつ ① はつさつ  
② はつさつ  
4 名人 ① めえじん  
② めいじん  
5 休日 ① きゆうぢつ  
② きゆうぢつ

6 つぎの □ の なかに かん字 を かきなさい。  
1 夕がた、うみべを  
さんぼした。白  
きれいな貝がらを  
七つひろった。  
2 プールでカいっばい  
ばた足をした。

3 天気がよい日に  
ちかくの小さな川で  
あそんだ。  
4 うさぎは右と左の  
耳をべつべつに  
うごかして音を  
きくことができる。  
きくことができる。  
きくことができる。  
5 正しいしせいいでいすに  
すわって本をよむ。  
6 学校の花だんに  
赤や青のあさがおが  
さいた。

——おわり——